

装いも新たに「矢沢明朗大学」笑いの渦での開講！

5月21日、矢沢地域振興会主催の第45期「矢沢明朗大学」の開講式を行いました。開講にあたり中島健次会長は64名の入講生を前に、名称変更の意義と生涯学習の尊さを話され歓迎の意を述べました。

記念講演は、割烹着の脳トレ漫談師の福々亭ナミ子さんによる脳トレ漫談。1時間強にわたるすさまじいばかりの話術に関係者を含む70名の観客は大笑いの連続でした。また、NHK・滝沢さんの取材があり当日放映されました！

笑いの健康効果

- 1 体：NK細胞（ナチュラルキラー）
病原菌・ガン細胞を殺す力が強い
- 2 心：エンドルフィン
幸福感呼ぶ脳内ホルモン
- 3 脳（若さのコツ）：
① 新しいことにチャレンジ
② 人に会って話す
③ 大いに笑う

納得！



笑いに包まれた和やかな開講式記念講演でした！



入講生を代表して
挨拶の齊藤建一さん



初登場の名司会者大森松司矢振会副会長

令和6年度 矢沢地区市政懇談会 開催

今年度の市政懇談会は、5月27日矢沢振興センターにおいて、上田東一市長をはじめ12名の幹部職員を迎え開催されました。司会是高橋靖矢沢地域振興会理事が務め、地区から30名が出席し1時間30分にわたり懇談が行われました。

今回矢沢地区から提出した「有害鳥獣対策について」大森松司矢沢地域振興会副会長は子供たちを始め地域の安心安全の観点からクマ出没に対する市の根本的な対策を求めました。また「福祉問題について」佐藤智明民生児童委員協議会会長はなり手不足の民生児童委員の選任について市の考え方を質しました。その他では、「悪臭対策」への市・県の対応について谷川勝志環境対策協議会会長、「義務教育学校」への思いや建設行程について小原久一教育振興協議会会長、捕獲した有害動物の処理について川村憲一高松第三行政区長が質問しました。

なお、本日の懇談会の詳細については、後日まとまり次第、市のホームページや矢沢振興センターで公表されます。



司会の高橋靖さん



挨拶する上田東一市長



大森松司さん



佐藤智明さん

○ 令和6年度 矢沢地域振興会 交付金事業採択へ向けて 各種団体・各行政区から申請書提出！

今年度の交付金事業の申請は矢沢地域振興会事業、各種団体、各行政区から49件約1,020万円の申請が上がっております。6月10日の査定委員会を経て、第1回役員会（6月28日開催予定）で採択される見込みとなっています。



🌸 令和6年度第1回自然探訪教室「ツツジの徳仙丈山を訪ねて！」

今年の第1回目の自然探訪教室は、5月24日に23名が参加し、気仙沼市の「つつじの名所・徳仙丈山（標高711m）」を探訪。当日は心配された天気もまずまずと参加者の皆さん元気に散策を楽しんだようです。

参加者の皆さんからは、「ツツジは終わっていて残念でしたが、新緑の中を歩くのが気持ち良かったです。バスをもう一回り大きいと楽だなと思います。スタッフの方々が明るくて、とてもいい雰囲気でした。」「県外での自然探訪。山・花・海・山菜と満喫できました。まずまずの天気に恵まれ良かったです。また新しい場所の企画を期待します。ありがとうございました。」等の感想をいただきました。ツツジの最盛期が過ぎて残念だったが、きついながらも久しぶりの登山を楽しむことができた、という声が多かったようです。



ツツジの花をバックにニコリと記念撮影！

○ 明朗大学6月講座のお知らせ

期日：6月27日（木）10時00分～

会場：矢沢振興センター大広間

講師：宮沢賢治記念館勤務（「賢治文庫」開設）

塩野 夕子 さん

講座：「宮沢賢治を愉しむ花巻暮らし」

同名の冊子を発行

埼玉県出身の塩野さんは賢治作品の舞台に憧れて平成30年に花巻市の地域おこし協力隊に着任、以来賢治とともに花巻をこよなく愛する日々を送り、「賢治文庫」の開設や「宮沢賢治花巻まち歩きファンブック」の作成に取り組んできました。是非皆様のご来場をお待ちしています。

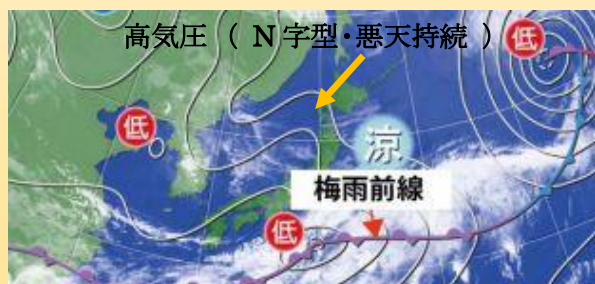


【事務局員のつぶやき】（梅雨の時期です、7月は梅漬けの季節でもあります！）

梅の花は桜に劣らず、見事に咲き誇る姿に見とれてしまいます。桜も梅も実がつくことには変わりはありませんが、桜の実を食べたという経験はありません。それに比べ梅は梅酒や梅干し或いは梅ジャムとして重用されています。梅の収穫時期は6月から7月が適期と云われており、梅干しは黄色く熟す前の青い梅を塩漬けにし（赤じそも利用）、これを土用の頃に取り出して日干しにして作ります。小生は以前に、早く梅干を作ろうと、6月に入って早々に梅を収穫したのですが、硬すぎて梅干しには適さなかったという失敗をしたことがあり、収穫時期を見誤らないようにしなくてはなりません。

梅は「その日の難のがれ」とか「梅干しは三毒を消す」と云われるように、梅干しは胃腸の内部を一時的に酸性にして有害な菌を殺し、しかも体内で吸収されるとアルカリ性になって血液をアルカリ性に保ち、血行をよくし様々な成人病にも有効に働くと云われています。毎朝、梅干しを食べる習慣があるのはこのためで、吾輩は弁当のおかず毎日梅干しを添えて、美味しく頂いていますが、成人病への効果は？というところまた別の話です。

ところで、今は入梅の季節ですが、「梅雨入り」と「入梅」は違います。「梅雨入り」は気象庁が入梅時期に一週間先までの予想図等から曇・雨天がしばらく続くと予想されるときに、北海道を除く南は沖縄から北は東北北部まで12の地域に区切って梅雨入りを発表しています（東北の場合は仙台管区气象台（吾輩の現役時代は調査課）が担当）。当然「梅雨入り」は毎年違いますが、「入梅」は雑節の一つで日にちが決まっており、今年の場合は6月10日となっています。ちなみに東北北部の梅雨入りの平年は6月15日ごろで、去年は6月9日ごろでした。今年はいつもより遅くなりそうな予報です？



梅雨期の天気図一例（北からN字型の高気圧）



梅干し用カメ



我が家の庭に咲いた梅の花